

六 通信網の保持

骨幹通信網は作戦の終期迄之を確保し太平洋方面に於ける作戦に於て過早に通信社網に依り戦況不明なりしが如きことなからしむる爲通信施設及資材を堅固なる洞窟内に收容し掩護を完全にすると共に通信の予備施設を準備す。

又海軍及航空との間に通信の相互援助に關し規定せり。

局地通信網は各軍保有の兵力資材を以て作戦の終始に即應せしむることとせり。之が防禦の要領に關しては前項に準じ實施せしむるべし。

第七節 現地目活と南方軍産業決戦措置要綱

一 現地目活の概況

太平洋戦争の艦戦一段落と共に南方國全般の産業五ヶ年計畫を樹立し之が實現に努力せしも當時に於ては戦局の將來の見透しも不明な

二五九

るのみならず、縮戦の勝利の直後なりし關係も、あり現地自活<sup>三六〇</sup>態勢の確立強化は予期<sup>三六〇</sup>の如く進捗せず。昭和十九年四月方面軍新設當時に於て内地との交通漸く困難となり且南方相互輸送亦、近き將來に於て敵の妨害の爲著しく制限せらるゝに至るべきを予想せられたるを以て方面軍は後方施策の最要綱の一つとして現地自活に關する具體的計畫を立案し遂行せり。

次で七月中より「南方軍産業決戦措置要綱」示達せられ爾後専ら此の示達に基き實行せり。

然るに戦局の變遷に伴ひ作戰計畫變更せられ又一貫輸送途次困難となりしを以て状況に即應する如く産業決戦措置要綱も變更せられたり。更に昭和二十年以後は各地域毎の現地自活を強化するの止むを得ざる状況となり三月上旬の南方軍命令に於て、方面軍の任務を馬來、爪哇、スマトラに於ける重要資源並に軍需品自給要域の確保に變更せられしを以て方面軍は自戦自活を強調し各軍に一層の努力を要望せり。

二、兩方軍産業決戦措置要綱に就て

艦隊直後作戦せられたる産業五箇年計盤は現況に即應せざるに盡りたるを以て之が改訂を必要とするに盡り内還物資の開発と直接作戦に必要なる軍需並に民需の最低需要を基礎として立案せるもの即兩方軍決戦措置要綱なり。而して兩方國中方面軍管内に於て其の大部分を担当實施せり。今其の中の重要事項を尋ぐれば左の如し。

1. 重要内還物資の生産（第八節重要國防資源の開発及内地越送参照）  
2. 基礎産業

軍需民需工業の基礎となるべき基礎産業は元來兩方地域が戦前原料供給地域たりし關係上何等此の方面に於て見るべきものなく僅かに爪哇及昭島にその一部が集中せしに過ぎず。従つて、電気石炭製鐵、製鋼等の基礎産業を急速に發達せしむる爲には内地より資材、技術者等を追送するを要したるも追送發達なるのみならず海没等の爲予定の如く進捗せざりしを以て方面軍は現地遊休資材施設を專用

し現地技術者を以て代用する等により之が不備を補へり  
三六二

### 3. 軍需産業

方面軍は南方軍の總兵站基地として南方軍全般の補給廠的任務を有し之が所要軍需を生産補給する爲軍機關係は勿論軍政施設を擧げて協力担当せしめたり。

現地目活の軍需品の概要次の如し。

#### (1) 兵器關係

武器彈藥

小口徑火炮、機關銃、等の部品小銃及彈藥等の製作

自動車關係 部品の製作

航空兵器關係 部品の製作

燃料關係

ドラム罐の再生及代用ドラム罐の製作

船艇關係

上陸用舟艇及機帆船体及機關の製作

#### (2) 衣糧關係

被服關係

被服類の殆んど大部を製作

糧食關係

現地自活により各地域毎に所要量を充足するを本則とす、馬來地區は黍稷印より米を移入す。

特殊糧秣

(航空糧秣及携帶口糧等)

完全自給

衛生材料

機械器具中簡易なるもの藥品の一部注射薬血清等の製作

兵實施要領

(1) 所要目標の生産量に達する爲軍機師、軍政機師緊密なる連絡の下に統一實施す。之に必要なる物資の需給調整を圖る。

(2) 各地域毎に其の特性に應じ担当せしむ。工業の重點は爪哇及馬來とす。

(3) 内地より追送する資材は眞に已むを得ざるものに限定し努めて現地資材、施設の活用を圖る。追送資材は緊急輸送順位による。

(4) 各産業は相互緊密なる連絡を保持し亦軍需と民需との調整を

圖る。原住民の民心を把握して作戦協力を強化し特に労働力確保に努む。

内地陸海交通線を確保し重要資材の輸送に遺憾なからしむ。

### 三、作戦経過に伴ふ既定計畫の変更

第一期に於ては概ね計畫の如く實施せるも昭和二十年初頭に至り先づ内運物資は殆んど輸送不可能となりしを以て生産整備を中止し之を直接戦力化に轉換せり。次で他軍に對する援助軍需資材も交通線の杜絶により困難となり且作戦方針の変更により地域的に減少するものもあり逐次之を方面軍管内所要部隊に補給し直接戦力を強化する如く変更せり。第二、第三期に於ては方面軍管内に於ける交通も困難となりしを以て各地域毎の戦力化に轉換せり。第三期に於ては更に直接作戦に必要な軍需の生産に重點を指向し余剰の人員は戦斗部隊に改編せり。

然れども後方軍政關係の轉換は實施遅々として常に作戦の靈通速度に差障し得ざりき。